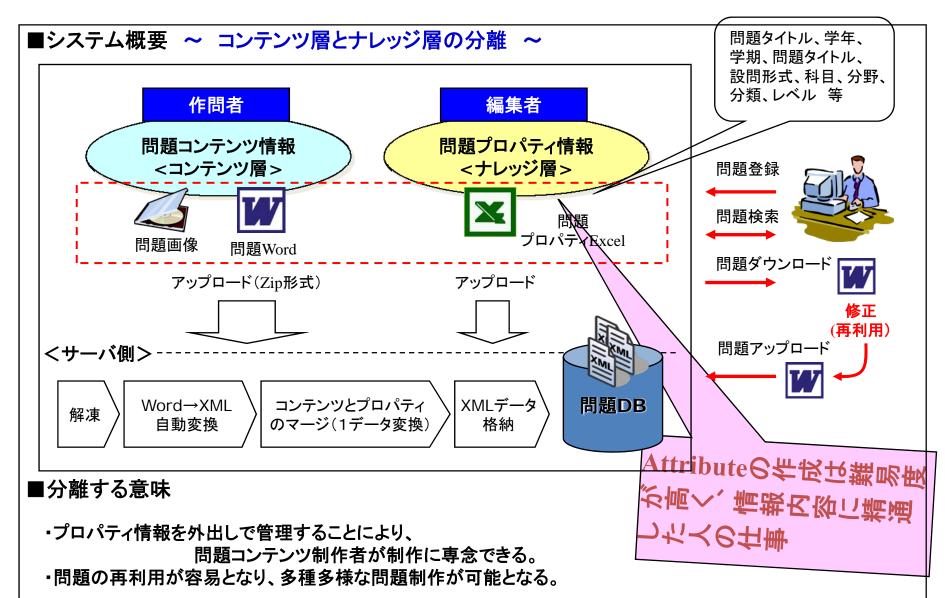
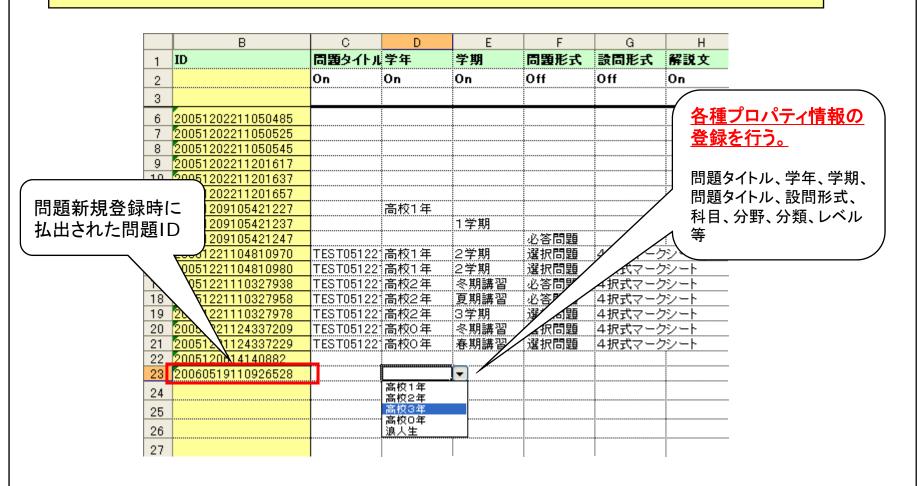
# C-4. ドキュメントXML作成のもう一の問題点

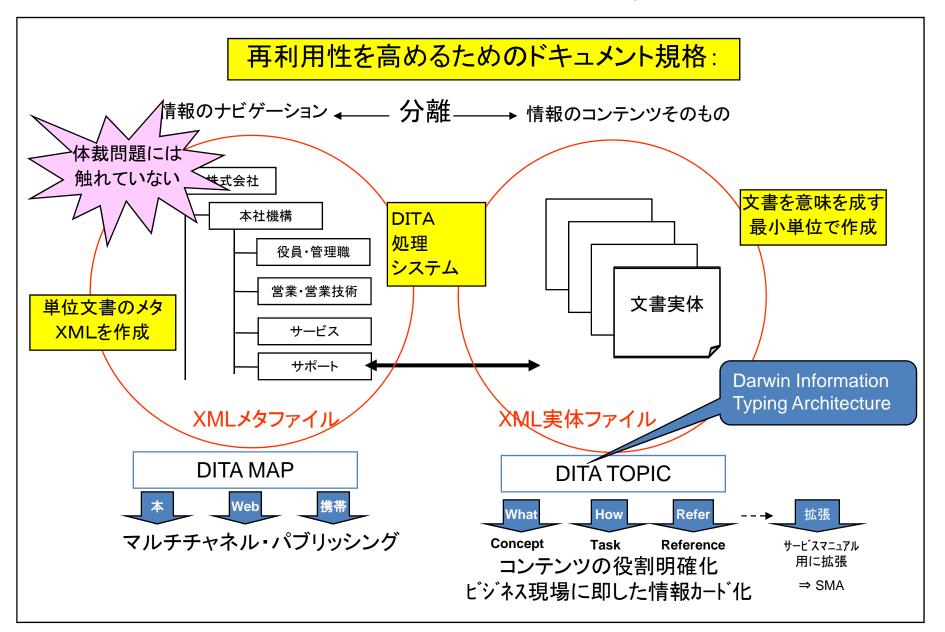


# C-4. Attribute作成をExcelで解決

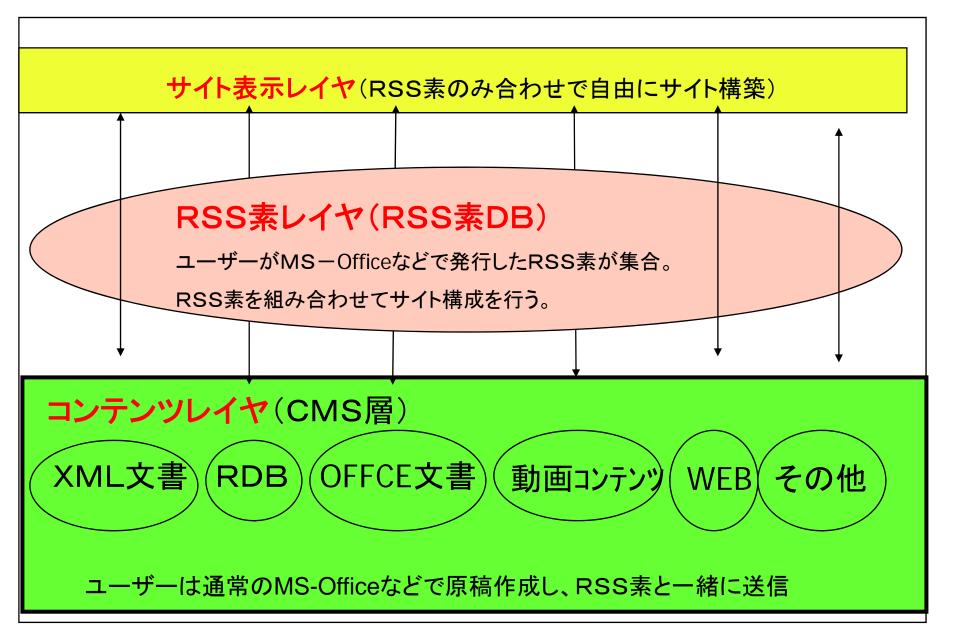
ダウンロードした「国語」問題プロパティ情報の新規問題IDに対して、各種プロパティ情報の登録を行う。



## C-4. ドキュメントXMLの部品化

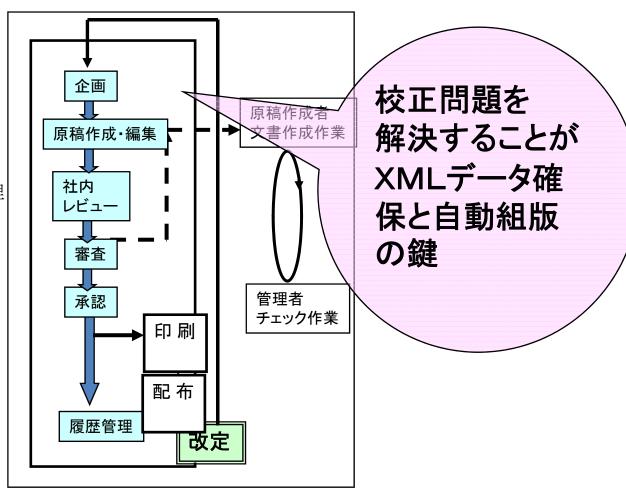


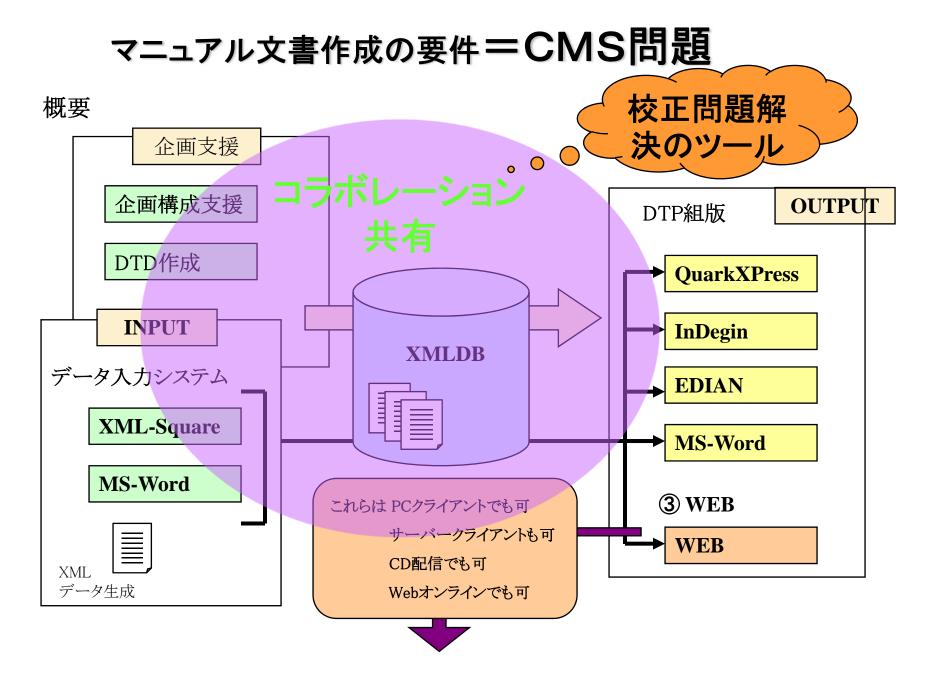
## C-4. メタXMLの活用の可能性



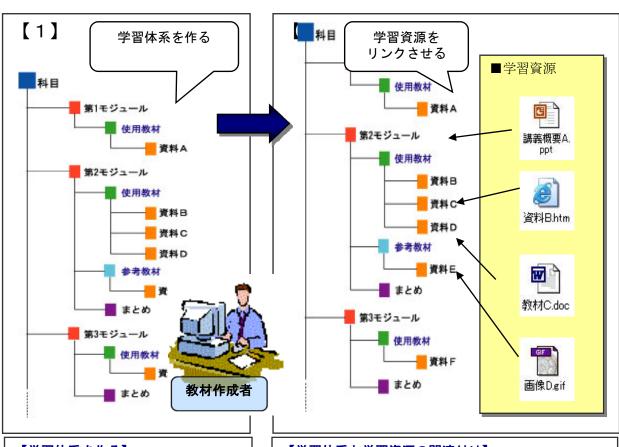
# マニュアル文書作成の要件=ワークフロー問題

- 企画
  - 用語辞書・表現事例
  - 目次・スケルトン構成
  - レイアウトグランドデザイン・部 品デザインルール
- 原稿作成
  - 新規XMLドキュメントの作成
  - 既存データの活用
- 管理者による編集、履歴の管理
  - 作成中文書の閲覧
  - 進捗管理
- 改定
  - 文書の変更・修正
  - 版数管理
- 出力•印刷
  - 自動組版、オンデマンド印刷
  - WEB組版/LMS組込み





# Learning Contents Management System (LCMS) の概要



# 

#### 【学習体系を作る】

- ・教材作成者が学習体系(教育プログラムの骨組み)を作成する。
- ・作成後、修正も行う。

#### 【学習体系と学習資源の関連付け】

- ・体系が出来たところで既存の電子データ (学習資源)をリンクさせる。
- ・附帯情報を登録する。

#### 【コースウェア完成 → 公開・運用】

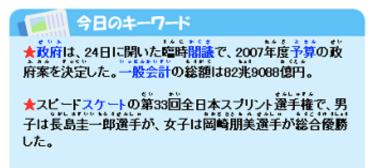
- ・コースウェア単位で管理する。
- ・コースウェアとして公開する。 (例:e-Learning教材として)
- ・コースウェアのメンテナンスをする。 (学習資源の入れ替え)
- コースウェアの改訂をする。 (学習体系の改訂)
- ・他のコースウェアを作成する。 (コースウェアの再利用、 学習資源の再利用)

# 《参考》、WEB百科事典サイト

# ポプラディアネット

(http://poplardia.net/)

个に文字を入力することで通常の テキスト検索ができます。



**取**新切出米争、か表示されより。

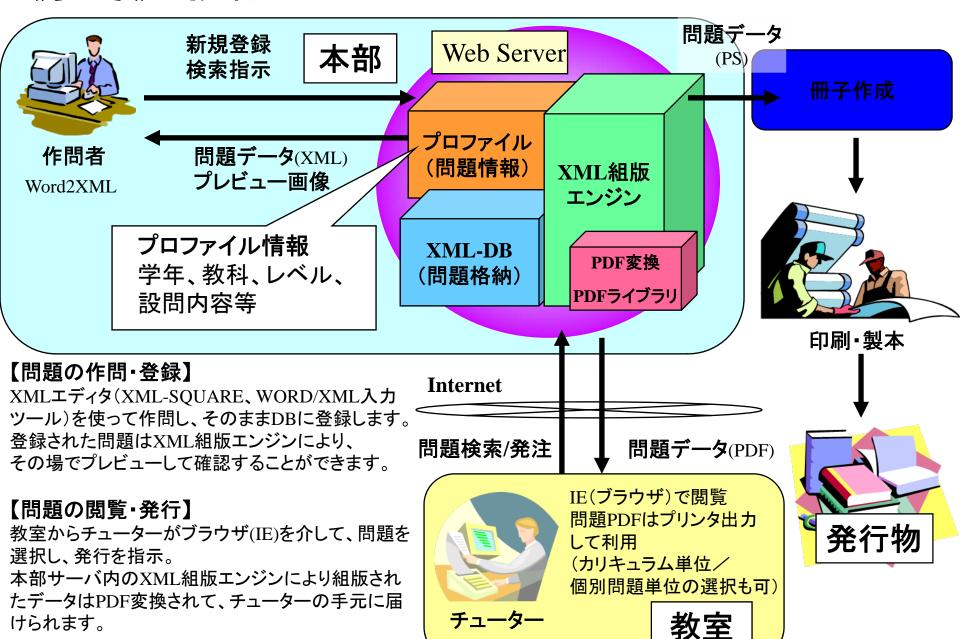


その時々に合った 動画を配信します。



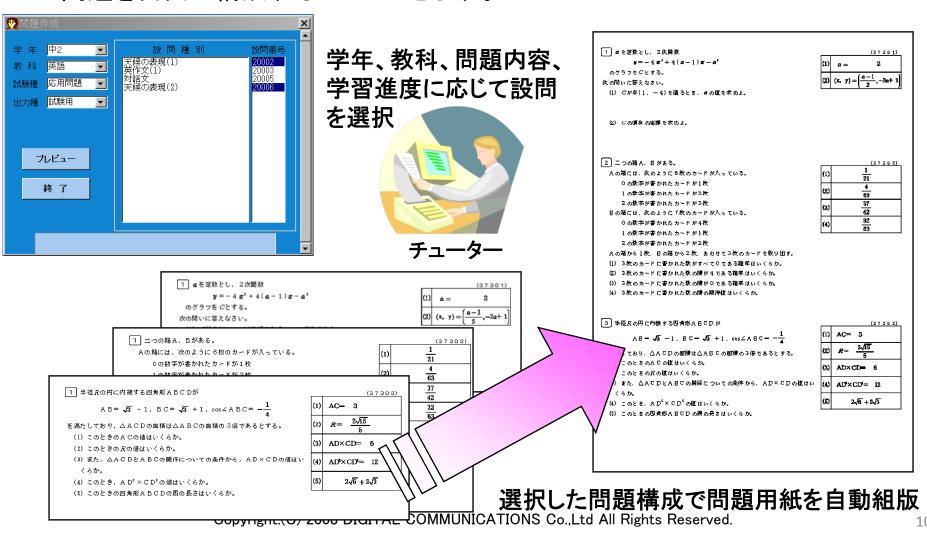
# 《参考》 教材XML-DBシステム

Copyright:(C) 2008 DIGITAL CO



# 《参考》 教材XML-DBシステム

各問題は設問単位でXML文書形式によって作成され、管理されます。それぞれの設問を組み合わせることで一組の試験問題として、出題者が問題を自由に構成することができます。



# ご静聴ありがとうございました。

(株)デジタルコミュニケーションズ 福重 青史 fukusige@sgml-xml.jp